

9月17日

第1次提出として43,910筆(前期署名残分含む)の署名を添えて「都立・公社病院の地方独立行政法人化を中止し、コロナ禍で都民が安心して医療が受けられる東京へ」請願提出を行いました(請願3第10号)。

紹介議員は、上田令子(江戸川、無・地域政党自由を守る会) 漢人あきこ(小金井、無・グリーンな東京) 日本共産党都議団でした。残念ながら立憲民主党は個人では署名してくれると言った議員がおられましたが、党議拘束により紹介議員にはどなたもなって頂けませんでした。



9月21日

○11:30~12:30 議会棟北口抗議宣伝(都立病院の充実を求める連絡会主催)

連絡会のメンバーを中心に、十数人の参加でビラとティッシュを配布しながら署名宣伝行動を行いました。本田医師が参加しました。

○13:00~ 30分程度 「定款」議案提出に対する知事への抗議(実行委員会)

日本共産党大山都議を介して知事要請を求め、西山病院経営本部長と課長が対応しました。抗議とその内容説明、参加者からの訴えに対し、都立・公社病院などのコロナ対応は評価している 独法化でより柔軟な取り組みを強めてゆく 再興新興感染症に備える必要があるからこそ、独法化をやってゆく 知事には伝えるとの対応でした。抗議声明全文リンク

<https://drive.google.com/file/d/1-0Q89Toj6Xf570JWYU12BkRJRjoxJDwJ/view?usp=sharing>

○14:00~ 40分程度 記者会見 都庁記者クラブ(実行委員会)

取材は、東京新聞幹事社他、朝日、毎日、都政新報、赤旗、ボトムアップチャンネル(本田先生の取材) その他2社位でした。 9/22付 東京新聞、しんぶん赤旗 掲載

知事抗議と声明の内容を説明(窪田実行委員会事務局)し、職場の状況を訴え(森越充実を求める連絡会代表委員)ました。また、本田医師(NPO法人医療制度研究会副理事長)はパワポを使って、日本の医療体制の現状を踏まえて独法化の問題点を説明し、安達自治体問題研究所主任研究委員は、独法化が行政手続上「違法」の疑いが高いと述べました。

記者からは、知事要請の反応は? 実行委員会の構成団体名は? など若干の質問がありました。

○記者会見終了後に紹介議員会派を訪問し、紹介議員受諾への御礼文書を手渡ししました。

今後の日程・可能な限り参加をお願いします。

9月28日(火) 都議会開会日

10時半~11時半 新宿駅西口

定款提出抗議・独法化中止を求める署名宣伝行動(連絡会主催)

12時15分~45分 都庁第一庁舎前 都議会開会日行動(都民連主催)

10月8日(金) 都議会厚生委員会 定款議案審議日

10時半~ 都議会棟北口前歩道 定款認めるな! 宣伝行動(連絡会主催)

10月20日(水) 独法化中止を求める学習会(東京社保学校として)(予定)

18時半~ 会場とWEBで開催 講演 太田正 作新学院大学名誉教授 他